

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

### 雑誌：外国語

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
Kaptein AA, Yamaoka K, Snoei L, <u>Kobayashi K</u> , et al.	Illness perceptions and quality of life in Japanese and Dutch patients with non-small-cell lung cancer.	Lung Cancer	72(3)	384-390	2011
Takeda M, <u>Ohno Y</u> , et al.	Detection of patient's sign of falls	The Second AMA-IEEE Medical Technology Conference			2011
Yoshimoto K, <u>Ohno Y</u> , et al.	Detection of abnormal event in toilet	The Second AMA-IEEE Medical Technology Conference			2011
Suzuki T, <u>Ohno Y</u> , et al.	Research into the Symptoms of Sick House Syndrome and/or Multiple Chemical Sensitivity Patients and Indoor and Outdoor Air Quality	Japanese Journal of Applied IT Healthcare	6	154-166	2011
Tanaka N, <u>Ohno Y</u> .	Visual Analog Scale for Effective Measurement of Physiological Change before Induction of Anesthesia	Virginia Henderson International Nursing Library			2011

# 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

## 雑誌：日本語

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
石川睦弓	がん患者・家族の抱える不安や悩み	外来看護	16(3)	67-79	2011
石川睦弓、 北村有子	患者・家族の支援に活かす活動 「生の声」を活かした情報支援～web 版がんよろず相談 Q&A サイトによる情報提供～	緩和ケア	21(5)	493-495	2011
石川睦弓、 北村有子、他	地域社会（コミュニティ）のがん医療と暮らしの情報提供ツールの検討	第 16 回日本緩和医療学会 学術大会 プログラム・抄録集		379	2011
安藤健、 大野ゆう子、他	電動ベッドに後付け可能な起立支援機器の提案	日本機械学会 論文集	78(785)	151-162	2012
清水佐知子、 大野ゆう子、他	看護ケアサプライチェーンにおける看護師業務遂行に関する分析	第 50 回日本生体医工学会抄録集	CD-ROM		2011
清水佐知子、 大野ゆう子、他	患者移送業務のオブジェクト指向モデリングと業務遂行時間に関する一考察	第 50 回日本生体医工学会抄録集	CD-ROM		2011
大野ゆう子、 山田憲嗣、他	業務改善に向けたタイムスタディのあり方の研究-看護スタッフと患者の双方の視点から-	病院設備	53(6)	1-D 活動報告 4	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	2020 年までの長崎県のがん罹患者推計：地域がん登録データを基にして	長崎県がん要因調査事業報告		137-138	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	長崎県におけるがん患者の受療動態分析：がん要因調査の基礎資料として	長崎県がん要因調査事業報告		119-123	2011
松村隆史、 大野ゆう子、他	網膜チップセンサーを用いた病院内人物モニタシステムの開発	電子情報通信学会技術研究報告	110(460)	141-145	2011
馬醫世志子、 大野ゆう子、他	訪問看護ステーションにおける休日夜間電話対応についての実態調査	IT ヘルスケア学会 第五回年次学術大会抄録集	6(1)	91-94	2011
富沢理恵、 大野ゆう子、他	看護業務の中断についての報告	IT ヘルスケア学会 第五回年次学術大会抄録集	6(1)	41-42	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
堀芽久美、 大野ゆう子、他	がんの生存率に対するマルコフモデルの適用について	応用統計学会 2011 年度年会講演予稿集		112-113	2011
鈴木珠水、 大野ゆう子、他	訪問看護ステーション利用者の情報共有に関する研究-デジタルフォトフレームを活用して-	IT ヘルスケア学会 第五回年次学術大会抄録集	6(1)	81-84	2011
鈴木珠水、 大野ゆう子、他	訪問看護ステーションにおける時間外対応の内容分析と記録フォーマットに関する研究	2009 年度 (平成 21 年度) 一般公募 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団完了報告書		1-29	2011
武田真季、 大野ゆう子、他	病院内のプライバシー空間における異常検知	第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会		1490-1491	2011
清水佐知子、 大野ゆう子、他	タイムスタディによる看護業務プロセスの可視化	生体医工学	48(6)	536-541	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	大阪府のがん罹患数・死亡数将来推計	地域がん登録全国協議会 第 20 回学術集会抄録集		35	2011
堀芽久美、 大野ゆう子、他	長期外来患者の判別問題	日本行動計量学会 第 39 回大会抄録集		427-428	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	がん生存率検討における死因の影響について-長崎県がん登録に基づく Incidence Mortality 比の検討から-	日本行動計量学会 第 39 回大会抄録集		125-126	2011
堅山遥菜、 大野ゆう子、他	地域がん登録を用いた乳がん患者の予後と関連する要因についての検討-長崎県がん登録を用いて-	日本行動計量学会 第 39 回大会抄録集		127-128	2011
笠原聡子、 大野ゆう子、他	業務 interruption における看護師の臨床判断論理に関する研究	日本行動計量学会 第 39 回大会抄録集		233-236	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
笠原聡子、 大野ゆう子、他	看護業務における中断の影響測定に関する研究	IT ヘルスケア学会 第 5 回年次学術大会抄録集	6(1)	31-34	2011
吉本佳世、 大野ゆう子、他	着衣型ホメオスタシス支援素材の開発-寝衣が睡眠に及ぼす影響について-	IT ヘルスケア学会 第 5 回年次学術大会抄録集	6(1)	115-116	2011
佐々木なぎさ、 大野ゆう子、他	病院外来配置換え前後の動線分析報告-病院スタッフの動線分析報告-	IT ヘルスケア学会 第 5 回年次学術大会抄録集	6(1)	43-44	2011
佐々木なぎさ、 大野ゆう子、他	長期療養型病院の外来配置換え前後における患者・病院スタッフの動線の変化に関する研究	日本生体医工学会	49(1)	28	2011
山田憲嗣、 大野ゆう子、他	看護学生による看護工学の事例	日本生体医工学会	49(1)	73	2011
大野ゆう子	看工融合研究と人材育成	日本生体医工学会	49(1)	62	2011
長倉俊明、 大野ゆう子、他	デザインによる医療の安全向上への検討（看護工学による医療支援）	日本生体医工学会	49(1)	241	2011
長倉俊明、 大野ゆう子、他	医用工学と看護工学による産業振興への提案	日本生体医工学会	49(1)	293	2011
武田真季、 大野ゆう子、他	病院内の見守りシステム	日本生体医工学会	49(1)	73	2011
吉田隆子	小児期における味覚検知閾値と味覚認知閾値の発達について	第 58 回日本学校保健学会			2011
吉田隆子、 小林美菜	「がん・生活習慣病予防における幼児期食育のあり方の検討-保育園児への料理選択教育と行動評価-」	日本大学国際関係学部生活科学研究報告	34	53-62	2012
北村周子、他	地域に開設された三重県がん相談支援センター(1)～その役割と有用性について～	第 35 回日本死の臨床研究会年次大会予稿集		309	2011
遠藤太一郎、 北村周子、他	地域に開設された三重県がん相談支援センター(2)～ボランティアサポーターが支える地域がん患者サロン～	第 35 回日本死の臨床研究会年次大会予稿集		310	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
矢田俊量、 北村周子、他	地域に開設された三重県が ん相談支援センター(3)～ がん死別体験者によるわか ち合いの会「おあしす」の 開設～	第 35 回日本死の 臨床研究会年次 大会予稿集		310	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

### 書籍：外国語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Shimizu S, Ohno Y, et al.	Nursing Business Modeling with UML:From Time and Motion Study to Business Modeling		Ahmed Badr Eldin (Ed)	Modern Approach es To Quality Control		2011	405-414

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

### 書籍：日本語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その1 ～外来編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その2 ～入院・退院・転院編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その3 ～診断・治療編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その4 ～緩和ケア編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その5 ～告知・インフォームドコンセント・セカンドオピニオン～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その6 ～医療者との関係編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その7 ～不安などのこころの問題編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その8 ～家族・周囲の人との関係編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
（以上、web 版がんよろず相談 Q&A サイト <a href="http://cancerqa.scchr.jp/">http://cancerqa.scchr.jp/</a> から無料ダウンロード）							
石川睦弓	インフォームドコンセント	大西和子、飯野京子	がん看護学	ヌーヴェルヒロカワ	東京都	2011	110-114

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
小林国彦	肺癌の QOL 評価	永井厚志 巽浩一郎 桑野和善 高橋和久	Annual Review 呼吸器	中外医学社	東京都	2011	193-198
大野ゆう子、 森本明子、他	6 節 がんの疫学	井上俊彦 山下孝、他	がん放射線治療と看護の実践	金原出版	東京都	2011	60-78
吉田貴子	6 幼児期	鈴木和春、 他	コンパクト応用栄養学	朝倉書店	東京都	2011	
北村周子、 他	「三重県内市町におけるがん生存者の QOL 向上のための医療資源調査 調査報告書」(2011 年 10 月)	三重県がん相談支援センター編集			三重県	2011	
山口建、 石川睦弓、他 (「がんの社会学」に関する合同研究班)	「がんよろず相談 Q&A 第 7 集 乳がん編④	静岡がんセンター			静岡県	2011	





201119029A(3/2)

厚生労働科学研究費補助金  
がん臨床研究事業

地域におけるがん患者等社会的支援の  
効果的な実施に関する研究

(H22-がん臨床-一般-006)

平成23年度 研究成果の刊行

研究代表者 石川睦弓

平成24年(2012)年5月

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

### 雑誌：外国語

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kaptein AA, Yamaoka K, Snoei L, <u>Kobayashi K</u> , et al.	Illness perceptions and quality of life in Japanese and Dutch patients with non-small-cell lung cancer.	Lung Cancer	72(3)	384-390	2011
Takeda M, <u>Ohno Y</u> , et al.	Detection of patient's sign of falls	The Second AMA-IEEE Medical Technology Conference			2011
Yoshimoto K, <u>Ohno Y</u> , et al.	Detection of abnormal event in toilet	The Second AMA-IEEE Medical Technology Conference			2011
Suzuki T, <u>Ohno Y</u> , et al.	Research into the Symptoms of Sick House Syndrome and/or Multiple Chemical Sensitivity Patients and Indoor and Outdoor Air Quality	Japanese Journal of Applied IT Healthcare	6	154-166	2011
Tanaka N, <u>Ohno Y</u> .	Visual Analog Scale for Effective Measurement of Physiological Change before Induction of Anesthesia	Virginia Henderson International Nursing Library			2011

# 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

## 雑誌：日本語

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
石川睦弓	がん患者・家族の抱える不安や悩み	外来看護	16(3)	67-79	2011
石川睦弓、 北村有子	患者・家族の支援に活かす活動 「生の声」を活かした情報支援～web 版がんよろず相談 Q&A サイトによる情報提供～	緩和ケア	21(5)	493-495	2011
石川睦弓、 北村有子、他	地域社会（コミュニティ）のがん医療と暮らしの情報提供ツールの検討	第 16 回日本緩和医療学会 学術大会 プログラム・抄録集		379	2011
安藤健、 大野ゆう子、他	電動ベッドに後付け可能な起立支援機器の提案	日本機械学会 論文集	78(785)	151-162	2012
清水佐知子、 大野ゆう子、他	看護ケアサプライチェーンにおける看護師業務遂行に関する分析	第 50 回日本生体医工学会抄録集	CD-ROM		2011
清水佐知子、 大野ゆう子、他	患者移送業務のオブジェクト指向モデリングと業務遂行時間に関する一考察	第 50 回日本生体医工学会抄録集	CD-ROM		2011
大野ゆう子、 山田憲嗣、他	業務改善に向けたタイムスタディのあり方の研究-看護スタッフと患者の双方の視点から-	病院設備	53(6)	1-D 活動報告 4	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	2020 年までの長崎県のがん罹患者推計：地域がん登録データを基にして	長崎県がん要因調査事業報告		137-138	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	長崎県におけるがん患者の受療動態分析：がん要因調査の基礎資料として	長崎県がん要因調査事業報告		119-123	2011
松村隆史、 大野ゆう子、他	網膜チップセンサーを用いた病院内人物モニタシステムの開発	電子情報通信学会技術研究報告	110(460)	141-145	2011
馬醫世志子、 大野ゆう子、他	訪問看護ステーションにおける休日夜間電話対応についての実態調査	IT ヘルスケア学会 第五回年次学術大会抄録集	6(1)	91-94	2011
富沢理恵、 大野ゆう子、他	看護業務の中断についての報告	IT ヘルスケア学会 第五回年次学術大会抄録集	6(1)	41-42	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
堀芽久美、 大野ゆう子、他	がんの生存率に対するマル コフモデルの適用について	応用統計学会 2011 年度年会講 演予稿集		112-113	2011
鈴木珠水、 大野ゆう子、他	訪問看護ステーション利用 者の情報共有に関する研究 -デジタルフォトフレーム を活用して-	IT ヘルスケア学 会第五回年次学 術大会抄録集	6(1)	81-84	2011
鈴木珠水、 大野ゆう子、他	訪問看護ステーションにお ける時間外対応の内容分析 と記録フォーマットに関す る研究	2009 年度 (平成 21 年度) 一般公募 公益財 団法人 在宅医療 助成 勇美記念 財団完了報告書		1-29	2011
武田真季、 大野ゆう子、他	病院内のプライバシー空間 における異常検知	第 12 回計測自動 制御学会システ ムインテグレー ション部門講演 会		1490-1491	2011
清水佐知子、 大野ゆう子、他	タイムスタディによる看護 業務プロセスの可視化	生体医工学	48(6)	536-541	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	大阪府のがん罹患数・死亡 数将来推計	地域がん登録全 国協議会 第 20 回 学術集会抄録集		35	2011
堀芽久美、 大野ゆう子、他	長期外来患者の判別問題	日本行動計量学 会 第 39 回大会抄 録集		427-428	2011
歌田真依、 大野ゆう子、他	がん生存率検討における死 因の影響について-長崎県 がん登録に基づく Incidence Mortality 比の 検討から-	日本行動計量学 会 第 39 回大会抄 録集		125-126	2011
堅山遥菜、 大野ゆう子、他	地域がん登録を用いた乳が ん患者の予後と関連する要 因についての検討-長崎県 がん登録を用いて-	日本行動計量学 会 第 39 回大会抄 録集		127-128	2011
笠原聡子、 大野ゆう子、他	業務 interruption におけ る看護師の臨床判断論理に 関する研究	日本行動計量学 会 第 39 回大会抄 録集		233-236	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
笠原聡子、 大野ゆう子、他	看護業務における中断の影響測定に関する研究	IT ヘルスケア学会 第 5 回年次学術大会抄録集	6(1)	31-34	2011
吉本佳世、 大野ゆう子、他	着衣型ホメオスタシス支援素材の開発-寝衣が睡眠に及ぼす影響について-	IT ヘルスケア学会 第 5 回年次学術大会抄録集	6(1)	115-116	2011
佐々木なぎさ、 大野ゆう子、他	病院外来配置換え前後の動線分析報告-病院スタッフの動線分析報告-	IT ヘルスケア学会 第 5 回年次学術大会抄録集	6(1)	43-44	2011
佐々木なぎさ、 大野ゆう子、他	長期療養型病院の外来配置換え前後における患者・病院スタッフの動線の変化に関する研究	日本生体医工学学会	49(1)	28	2011
山田憲嗣、 大野ゆう子、他	看護学生による看護工学の実例	日本生体医工学学会	49(1)	73	2011
大野ゆう子	看工融合研究と人材育成	日本生体医工学学会	49(1)	62	2011
長倉俊明、 大野ゆう子、他	デザインによる医療の安全向上への検討（看護工学による医療支援）	日本生体医工学学会	49(1)	241	2011
長倉俊明、 大野ゆう子、他	医用工学と看護工学による産業振興への提案	日本生体医工学学会	49(1)	293	2011
武田真季、 大野ゆう子、他	病院内の見守りシステム	日本生体医工学学会	49(1)	73	2011
吉田隆子	小児期における味覚検知閾値と味覚認知閾値の発達について	第 58 回日本学校保健学会			2011
吉田隆子、 小林美菜	「がん・生活習慣病予防における幼児期食育のあり方の検討-保育園児への料理選択教育と行動評価-」	日本大学国際関係学部生活科学研究報告	34	53-62	2012
北村周子、他	地域に開設された三重県がん相談支援センター(1)～その役割と有用性について～	第 35 回日本死の臨床研究会年次大会予稿集		309	2011
遠藤太一郎、 北村周子、他	地域に開設された三重県がん相談支援センター(2)～ボランティアサポーターが支える地域がん患者サロン～	第 35 回日本死の臨床研究会年次大会予稿集		310	2011

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
矢田俊量、 北村周子、他	地域に開設された三重県が ん相談支援センター(3)～ がん死別体験者によるわか ち合いの会「おあしす」の 開設～	第 35 回日本死の 臨床研究会年次 大会予稿集		310	2011

# 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

## 書籍：外国語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Shimizu S, Ohno Y, et al.	Nursing Business Modeling with UML:From Time and Motion Study to Business Modeling		Ahmed Badr Eldin(Ed)	Modern Approach es To Quality Control		2011	405-414



# 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

## 書籍：日本語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その1 ～外来編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その2 ～入院・退院・転院編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その3 ～診断・治療編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その4 ～緩和ケア編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その5 ～告知・インフォームド コンセント・セカンドオピニオン～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その6 ～医療者との関係編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その7 ～不安などのこころの問題編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
石川睦弓、他 （「がんの社会学」に関する合同研究班）	乳がん体験者の声 Q&A その8 ～家族・周囲の人との関係編～	静岡がんセンター	EPUB 形式 電子書籍			2011	
(以上、web 版がんよろず相談 Q&A サイト <a href="http://cancerqa.scchr.jp/">http://cancerqa.scchr.jp/</a> から無料ダウンロード)							
石川睦弓	インフォームド コンセント	大西和子、 飯野京子	がん看護学	ヌーヴェル ヒロカワ	東京都	2011	110-114

## 成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
<u>小林国彦</u>	肺癌の QOL 評価	永井厚志 巽浩一郎 桑野和善 高橋和久	Annual Review 呼吸器	中外医学 社	東京都	2011	193-198
<u>大野ゆう子</u> 、 <u>森本明子</u> 、他	6 節 がんの疫学	井上俊彦 山下孝、他	がん放射線治 療と看護の実 践	金原出版	東京都	2011	60-78
<u>吉田貴子</u>	6 幼児期	鈴木和春、 他	コンパクト応 用栄養学	朝倉書店	東京都	2011	
<u>北村周子</u> 、 他	「三重県内市町 におけるがん生 存者の QOL 向上 のための医療資 源調査 調査報 告書」(2011 年 10 月)	三重県 がん相談 支援セン ター編集			三重県	2011	
山口建、 <u>石川睦弓</u> 、他 (「がんの社会 学」に関する合 同研究班)	「がんよろず相 談 Q & A 第 7 集 乳がん編④	静岡がん センター			静岡県	2011	

# 雜誌：外國語



## Illness perceptions and quality of life in Japanese and Dutch patients with non-small-cell lung cancer

Ad A. Kaptein<sup>a,\*</sup>, Kazue Yamaoka<sup>b</sup>, Lucia Snoei<sup>a</sup>, Kunihiko Kobayashi<sup>c</sup>, Yuka Uchida<sup>c</sup>, Willem A. van der Kloot<sup>d</sup>, Toshio Tabei<sup>e</sup>, Wim Chr. Kleijn<sup>a</sup>, Mariska Koster<sup>f</sup>, Giel Wijnands<sup>f</sup>, Hans Kaajan<sup>f</sup>, Tommy Tran<sup>f</sup>, Kenichi Inoue<sup>e</sup>, Rik van Klink<sup>g</sup>, Eva van Dooren-Coppens<sup>g</sup>, Hans Dik<sup>h</sup>, Fumi Hayashi<sup>i</sup>, Luuk Willems<sup>j</sup>, Dunja Annema-Schmidt<sup>j</sup>, Jouke Annema<sup>j</sup>, Bas van der Maat<sup>j</sup>, Klaas van Kralingen<sup>j</sup>, Corrie Meirink<sup>k</sup>, Kyoji Ogoshi<sup>l</sup>, Neil Aaronson<sup>m</sup>, Hans Nortier<sup>n</sup>, Klaus Rabe<sup>j</sup>

<sup>a</sup> Unit of Psychology, Leiden University Medical Centre (LUMC), PO Box 9600, 2300 RC Leiden, The Netherlands

<sup>b</sup> Department of Technology Assessment and Biostatistics, National Institute of Public Health, Saitama, Japan

<sup>c</sup> Department of Respiratory Medicine, Saitama International Medical Center, Hidaka City, Japan

<sup>d</sup> Psychology Institute, Leiden University, The Netherlands

<sup>e</sup> Saitama Cancer Centre, Saitama, Japan

<sup>f</sup> Department of Respiratory Medicine, Deventer Ziekenhuis, Deventer, The Netherlands

<sup>g</sup> Department of Respiratory Medicine, Diaconessenhuis, Leiden, The Netherlands

<sup>h</sup> Department of Respiratory Medicine, Rijnland Ziekenhuis, Leiderdorp, The Netherlands

<sup>i</sup> Toyo Eiwa University, Japan

<sup>j</sup> Department of Respiratory Medicine, Leiden University Medical Centre (LUMC), Leiden, The Netherlands

<sup>k</sup> Department of Surgery, Diaconessenhuis, Leiden, The Netherlands

<sup>l</sup> Department of Surgery, School of Medicine, Tokai University, Kanagawa, Japan

<sup>m</sup> Department of Psychosocial Oncology, Antoni van Leeuwenhoekhuis, Amsterdam, The Netherlands

<sup>n</sup> Department of Clinical Oncology, Leiden University Medical Centre (LUMC), Leiden, The Netherlands

### ARTICLE INFO

#### Article history:

Received 22 June 2010

Received in revised form 31 August 2010

Accepted 14 September 2010

#### Keywords:

Non-small-cell lung cancer

Psychosocial research

Quality of life

Illness perceptions

Cross-cultural comparison

### ABSTRACT

This study examined quality of life (QOL) and illness perceptions in Dutch and Japanese patients with non-small-cell lung cancer, thereby extending the body of knowledge on cultural differences and psychosocial aspects of this illness.

24 Dutch and 22 Japanese patients with non-small-cell lung cancer filled out questionnaires on three occasions: immediately before chemotherapy, 1 week later, and 8 weeks after the initial chemotherapy. The European Organization for Research and Treatment of Cancer Quality of Life Questionnaire (EORTC QLQ-C30) assessed QOL, and the Brief Illness Perception Questionnaire (B-IPQ) illness perceptions.

Scores on several QOL measures indicated (a) major impact of first chemotherapy sessions, and (b) some tendency to returning to baseline measures at 8 weeks. Differences between Japanese and Dutch samples were found on five EORTC QLQ-C30 dimensions: global health status, emotional functioning, social functioning, constipation, and financial difficulties, with the Dutch patients reporting more favorable scores. Regarding illness perceptions, Japanese patients had higher means on perceived treatment control and personal control, expressing a higher sense of belief in the success of medical treatment than Dutch patients.

In both Japanese and Dutch patients, impact of chemotherapy on QOL was evident. Some differences in illness perceptions and QOL between the two samples were observed, with implications for integral medical management. Both samples reported illness perceptions that reflect the major consequences of non-small-cell lung cancer. Incorporating symptom reports, illness perceptions, and QOL into medical management may have positive consequences for patients with non-small-cell lung cancer.

© 2010 Elsevier Ireland Ltd. All rights reserved.

### 1. Introduction

Behavioural aspects of lung cancer are increasingly being studied. In this journal, psychosocial aspects of lung cancer have been reviewed by Carlsen et al. [1], where the authors concluded that major psychosocial problems are highly prevalent, and that these

\* Corresponding author. Tel.: +31 71 526 2905; fax: +31 71 524 8123.  
E-mail address: [a.a.kaptein@lumc.nl](mailto:a.a.kaptein@lumc.nl) (A.A. Kaptein).